



学校だより 春休み号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

Next Stage

学校長 副島江理子

例年よりも早い春の訪れに、桜もすっかりと満開になりました。本日で、令和2年度が修了いたします。

1月より続いた「緊急事態宣言」もようやく解除されましたが、まだまだ感染状況は厳しいものがあり、感染症予防対策をとった上での学校生活が続きます。引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

19日には、令和2年度、本校第31回目の卒業生58名が、ご来賓を代表してPTA会長永樂明弘様と保護者の方々に見守られて晴れやかに卒業していきました。6年間の本校での「主体的、協働的な学び」を身に付けた堂々とした姿でした。最後の見送りでは、完成した正門を開放して、正門での写真撮影となりました。また、工事の関係者の皆様も見送りに参列してくださり、お祝いの拍手を送っていただきました。感染症予防対策に加え、工事による規制で我慢をすることが多かった学校生活ですが、最後に、閉ざされていた正門が開き、正門に陽の光が燦燦と降り注いでいる光景は、世の中が、がんばった卒業生を労い、明るい前途を祝福しているかのように思えて、見送る私たちも晴れ晴れとした気持ちになりました。卒業生の今後の活躍を心より祈っております。

新校舎が完成し引き渡しも終わりましたので、修了式はサブグラウンドで行いました。サブグラウンドは2月から休み時間や体育で使っていましたが、今回は新校舎の大階段から降りて行きました。また、一足早く新校舎に入り、4月からの教室への行き方等も確認しました。子どもたちは、すっかり進級した気分になったようです。

今年度、先が見通せず、規制が多く、不安が募る毎日の中で、新校舎の建設が着々と行われていたことは、一つの明るい兆しのように思っていました。雨の日も風の日も工事をしてくださる関係者の方々の姿。いくつもの大きな重機。徐々に出来上がっていく校舎。形になっていくことのすばらしさを体感することができました。子どもたちは、工事に伴う行動の変化にも柔軟に対応して、けがもほとんどなく落ち着いて一年間を乗り切りました。工事現場をブロックしている壁面に運動会前に絵を描いたこと、その経験を生かして5年生が、6年生に卒業のお祝いのすばらしい絵とメッセージをまとめてくれたこと。置かれた環境のなかで、最大限の楽しみを産み出そうとしていた子どもたちの姿と、日々出来上がっていく校舎の姿は、未来への希望として重なりました。

いよいよ令和3年度は、緑園東小学校としての最後の年となりますが、子どもたちはすでに新校舎での新しい学校生活に、もう一段ステップアップした学校生活を思い描き、期待に胸を膨らませています。

保護者、地域の皆様には、今までにない一年間となり、大変なご心配とご苦労をおかけいたしました。

多大なるご理解とご支援に心より御礼申し上げます。来年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

4月より、登下校の通路が一部、変わります。別プリントでお知らせしておりますので、よくお子様とご確認の上、7日の始業式の際に、一声かけていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。